

国民の命を守るための新型コロナウイルス感染症に対する 治療薬・ワクチン確保に向けた緊急提言（要旨）

感染拡大防止と経済活動の維持・回復の両立を進めるためには、安全で有効なワクチンの開発および実用化が急務である。国民の「いのち」と「生活」を守るため、一日も早く安全で有効なワクチンを国民に供給できるよう、政府を挙げて取り組むことを強く要請する。

1) ワクチン開発と確保について

- オックスフォード大学とアストラゼネカ社が連携して開発しているウイルスベクターワクチンの確保について、交渉を急ぎ速やかに取りまとめ結果を得ること。
- 国内で進むワクチン開発を強力に支援するとともに、海外で開発が進んでいるその他のワクチン確保についても交渉も急ぐこと。
- 国内・国外を問わず、安全で有効なワクチン開発と確保のため、予備費も積極的に活用し、必要な予算を十分に確保すること。
- 新型コロナウイルスワクチンを「いつまでに」「どれくらいの量」を確保するのか、また、ワクチンの費用については「公費で買い上げるのか」「健康保険を用いるのか」などを速やかに示し、製造販売業者に予見可能性を与えること。
- ワクチンが順次確保された場合の先行接種の対象者と順位の考え方を明確に示すこと。
- 抗体依存性感染増強(ADE)を注意深く追跡する必要があり、接種開始後も有効性と安全性の調査を注意深く行うこと。
- 副反応または健康影響が発生することに備えて、法整備を行い、新型コロナウイルス感染症予防接種による健康被害救済制度を実施すること。

2) 既存薬の転用について

- かつてのように厚生労働科学研究費など安定した仕組みのもと、医療機関が既存薬を現場で活用できるように早急に取り組むこと。
- 重症化した際の治療法の開発を含め幅広く取り組むこと。

3) 質の高い検査について

- 早急に定量検査を活用した質の高い抗原・抗体検査を確立すること。
- 国の責任で抗原と抗体の標準品の作成を急ぐこと。また、遺伝子配列を追跡し、検査体制に反映するなど迅速な対応を図ること。

4) 平時から有事までの感染症対策を統括する司令塔の設置について

- 平時から有事までの感染症対策を統括する司令塔となる日本版 CDC のあり方について早急に検討し、感染症危機管理体制を構築すること。